

※予告なく形状・仕様・使用方法を変更する場合があります。

取扱店名 必ずご記入ください。記入のない場合は保証が受けられない場合があります。

ご購入日 年 月 日

ご購入者 必ずご記入ください。記入のない場合は保証が受けられない場合があります。

氏 名

住 所 〒 ー

ヒットエア付ジャケット記録MEMO



年 月 日



年 月 日



年 月 日



年 月 日



無限電光 株式会社

〒468-0055 名古屋市天白区池場1丁目1012
TEL 052-807-7750 FAX 052-807-7901
E-mail mugen@hit-air.com
URL www.hit-air.com

常 時 携 帯

AIRBAG SYSTEM Manual

※使用前に必ずお読み下さい



hit-air
SHOCK BUFFERING SYSTEM

首部衝撃緩和保護システム 取扱説明書



首部エアバッグ

《キーボックス Y型》

www.hit-air.com

△ ご使用前と再生後に必ずチェック！

ヒットエアをご利用頂き誠にありがとうございます
エアバッグジャケットを安心安全に、正しくご利用頂くために…
当社は出荷時に検品を行っていますが、出荷後に何らかの問題が生じた場合など、
また、各自で再生した場合に、安心してご利用頂くためにご確認ください。

ご使用前に①～⑤について必ずご確認ください！

- 注意！
- 正しいセットが行われてないと作動しない場合や誤作動の原因になります。
 - 一度作動したCO²カートリッジボンベは使用できません、必ず外して下さい。
 - hit-air製CO²カートリッジボンベ以外は使用できません。

① モデル指定サイズ(容量)の CO²カートリッジボンベが付いている

CO²カートリッジボンベのシールにサイズ表示があります

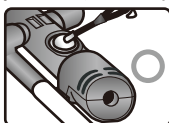
② 封印シールが正常(破損なく)に付いている

- ※各自で再生した場合は付いていません
- 当社出荷時に未使用CO²カートリッジボンベと
キーボックスに封印シールを付けています。
(※キーボールが付いた状態)
- ・モデル指定サイズ(容量)のカートリッジボンベを装備。
- ・カートリッジボンベのネジの緩み防止。
- ・使用済カートリッジボンベの取付け防止。

注意！ 作動後の再生は、必ず“再生作業”の手順に
従ってください。(P19～P23 参照)

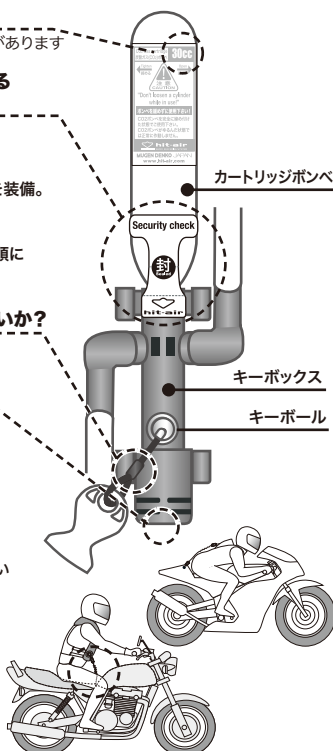
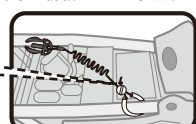
③ ワイヤーループ、伸縮ワイヤーに劣化がないか？

④ キーボックスの底のネジ穴が見える (セッティングボルトが付いていない)

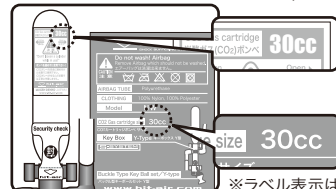


⑤ 伸縮ワイヤーが正しくセットされている

伸縮ワイヤー取付方法・位置の詳細はP16を参照下さい



- ① モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります。
カートリッジボンベシールの表示サイズ(容量)とキーボックスカバー裏側のラベル表示
が同じである事をご確認下さい。(モデルによってラベル表示のない場合があります)



・表示が違う場合…破損の原因になります
※ラベル表示がない場合、サイズが不明の時は、
hit-airカタログやホームページでご確認下さい。
ホームページ“交換用ボンベサイズ表”を参照下
さい。
www.hit-air.com

※ラベル表示はモデルによって表示内容が異なります

- ② 新品購入時に、カートリッジボンベとキーボックスに封印シールが無いもの、シールが破
損(明らかに破れている)しているものは、カートリッジボンベを外してボンベの底部(ネジ
部先端)に穴が開いていない事をご確認下さい。

・穴が開いていない場合…未使用カートリッジボンベです、問題ありません。
キーボックスにカートリッジボンベを取付けてご使用下さい。
注意！ カートリッジボンベのねじ込みが緩いと誤作動の原因となります
(カートリッジボンベ取付けの詳細はP23参照)

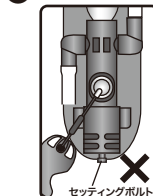
・ボンベの底に穴が開いていないものは使用できます
・穴が開いている場合…使用済ボンベですので使用できません。
新しい未使用ボンベを取付けてからご使用下さい
・ボンベの底に穴が開いている場合は使用できません

※未使用カートリッジボンベの取付けは、“再生作業”の手順に従ってください。(P19～P23参照)

③ ワイヤーループ、伸縮ワイヤーに劣化がないか？

擦れやほつれなど劣化している場合は、新しいものにお取り替え下さい。数年間使用しますと状
況によって劣化する場合があります、1～2年を目安に新しいものにお取り替えする事をすす
めします。

④ キーボックス底にセッティングボルトが付いていない事をご確認下さい。



セッティングボルトはキーボックス再生の際にキーボール取付けに使用
するパーツです(詳細はP20～P21参照)

・付いている場合…セッティングボルトが付いた状態では作動しません。
必ずセッティングボルトは外してからご使用下さい

⑤ 伸縮ワイヤーの取付けの際に、必ず結び目を付けて下さい。結び目は作動の際にワイヤーを 抜けなくするストッパーの役割をします。

注意！ 結び目がないとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。

この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。
安心安全のために、年に一度はメンテナンスのご利用をおすすめします。
無限電光(株) TEL 052-807-7750 E-mail mugen@hit-air.com

- お買い上げありがとうございました。
○ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。
○この取扱説明書は、必ず常時携帯して下さい。

▶▶ 1 安全に関する注意事項 P5

▶▶ 2 概要 P7

▶▶ 3 各名称・形状 P9

▶▶ 4 構造 P11

- 4-1 機能 P11
4-2 気室 P11
4-3 ヒットエア-構造 P12
4-4 キーボックス P12
4-5 キーボール P13
4-6 CO²カートリッジボンベの取扱い P13

▶▶ 5 使用方法 P14

- 5-1 ワンタッチリリースについて P14
5-2 首部ヒットエア-システムと伸縮ワイヤーの接続 P14
5-3 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続 P15
5-4 伸縮ワイヤー取付方法・位置 P16

▶▶ 6 作動時及び、作動後の注意 P17

▶▶ 7 作動後の再生 P18

- 7-1 再生するには P18
7-2 再生作業 P19

▶▶ 8 保管方法 P24

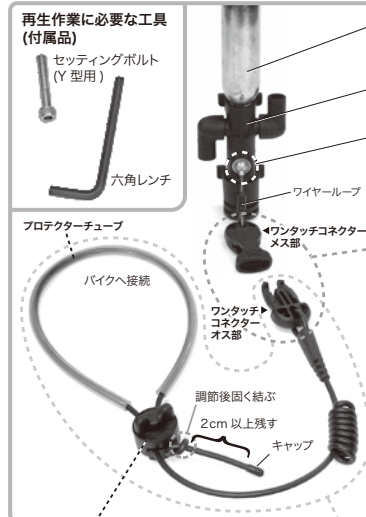
▶▶ 9 お手入れ方法 P24

▶▶ 10 買い換え(交換)のめやす P24

▶▶ 11 アフターサービスについて P25

▶▶ 12 保証について P25 保証書 巻末

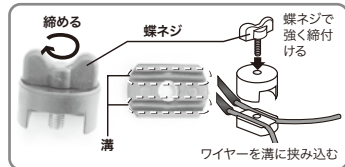
▶▶ はじめに ヒットエア-に装備されたアクセサリ-



ループセッター (P15参照)

伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定するネジ

伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節をした後でループセッター下部の溝にワイヤーを固定し、蝶ネジを締めます。



プロテクターチューブ (P15~16参照)

バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー。伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所の形状に応じ、適度な長さで切断して下さい。

CO² カートリッジボンベ (P13参照)キーボックスが作動するとボンベからCO²ガスがエアバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

キーボックス(Y型) (P12参照)

YKKと共同開発した小型軽量型キーボックス

キーボール(Y型) (P13参照)

キーボールが抜けるとエア

バッグが作動します。

キーリングはキーボールをキー

ボックスに固定するパーツです。

ワンタッチリリース(コネクター) (P14参照)

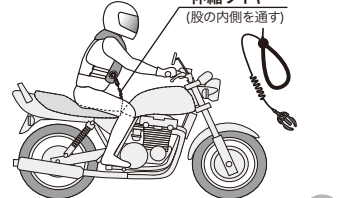
乗車の際に取付けた伸縮ワイヤーのコネクター・オス部とウェア側のキーボックスのコネクター・メス部を接続して下さい。また降車の際、右図のように外してからお降り下さい。(YKKと共同開発したバックル型)

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい



伸縮ワイヤー (P15参照)

強度に優れたケブラー糸を使用したワイヤーにウレタン樹脂で表面をコーティングしています。



▶▶ 1 安全に関する注意事項

本誌(取扱説明書)は、ヒットエア-(衝撃緩和保護システム)付ジャケットを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管(バイク内等)して下さい。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。



この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告 1. 首部ヒットエア-は、バイクに乗車の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。

警告 2. 首部ヒットエア-は必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエア-を着用して下さい。

警告 3. 使用済のカートリッジボンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)のカートリッジボンベを使用して下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いていないことを確認してご使用ください。

警告 4. 首部ヒットエア-システム内蔵のパーツを分解しないで下さい。

注意 5. 首部ヒットエア-を着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物は入れないで下さい。着用前には必ず取り外して下さい。(例:ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等)作動時及び、作動後にも気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

注意 6. 首部ヒットエア-取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスボンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40℃以下での使用に限りです。高温になると破裂の危険があります。

注意 7. ワンタッチリリース(コネクター)をはずすのを忘れてバイクから降りると、引っ張られた伸縮ワイヤーによってバイクが転倒する危険性がありますので、必ず、バイクに股が掛った状態でワンタッチリリース(コネクター)をはずして降車して下さい。

注意 8. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 9. 首部ヒットエア-が常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

注意 10. 保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊り上げて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。

注意 11. 首部ヒットエア-に、針を通したり、エンブレム等の縫付けやアイロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。

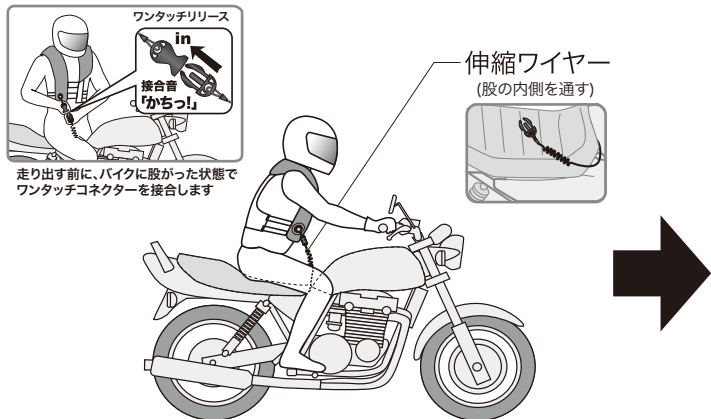
注意 12. バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けであるか、各自チェックして下さい。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

注意 13. 内蔵された首部エアバッグシステムのみの単体での使用は出来ません。

注意 14. 首部ヒットエア-は洗濯、クリーニングはできません。

注意 15. キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、擦れ、切れ等)が確認された場合には、部品交換して下さい。

2 概要



首部ヒットエア(衝撃緩和保護システム)は、バイク乗用の際、上衣として着用します。

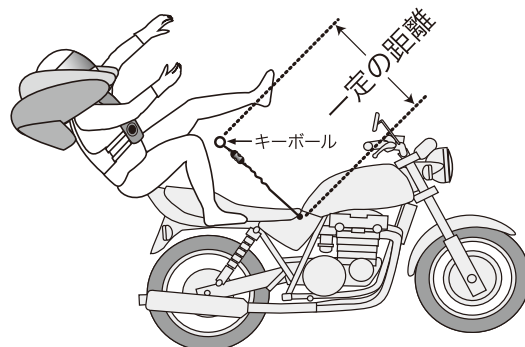
転倒、衝突などによってライダーがバイクから一定の距離(※1)離れた瞬間に、キーボールが抜け、ヒットエアに組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジボンベより炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっています。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の中に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けない仕組みになっており(4-3 キーボックス(P12)参照)走行時に予想される、ライダーのスタンディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

〈※1〉一定の距離とは、首部ヒットエアを着用し、ワンタッチコネクタを接続してバイクとつながった状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害(※2)もなく伸びきった状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。

〈※2〉障害とは、首部ヒットエアを着用し、ワンタッチコネクタを接続してバイクとつながった状態で、伸縮ワイヤーに障害物(車両、荷物、その他)などが触れたりからんだ場合の事をいう。これらの場合、一定の距離に至らなくても作動する事があります。

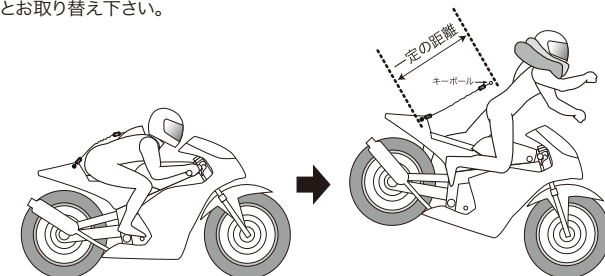


○バイクと共に、衝突・転倒しバイクと着用している首部ヒットエアが一定の距離を離れない場合は作動しません。

○首部ヒットエアは、膨張した気室以外の場所は、衝撃緩和の効果はありません。

○首部ヒットエアを着用し、バイクから降車する際に、ワンタッチリリースの取り外しを怠り、一定の距離離れ、約30kg~35kgの力(4-3 キーボックス(P12)参照)がかかった場合も、キーボールが抜け、作動しエアバッグが膨らんでしまいます。誤操作に十分注意して下さい。誤操作防止のためワンタッチリリースの取付け・取外しは、バイクに股がった状態で行って下さい。

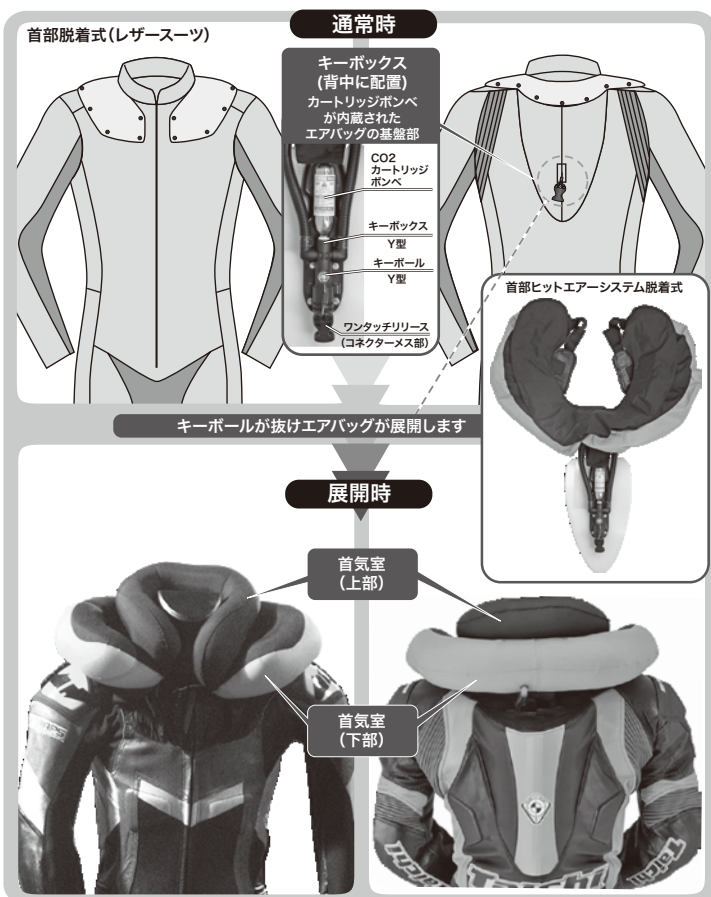
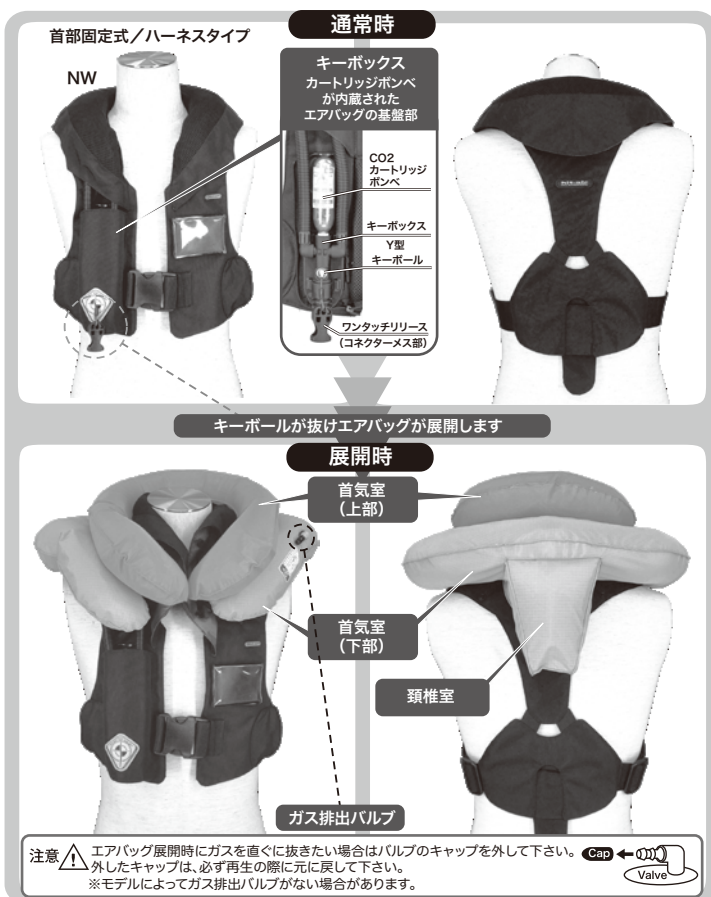
○一度作動したカートリッジボンベは使用できません。サイズ(容量)の合った未使用のものとお取り替え下さい。



7

8

3 各名称・形状



※モデルによってデザイン・形状等は異なる場合があります。

9

10

4-1 機能

1. 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアバッグ（気室）に炭酸ガスを送り込み膨らみます。最大限に膨らむまでも、衝撃を緩和する効果があります。
2. 胸部にあるカートリッジボンベ及び、キーボックスの背面部分には、事故の際にそれらの突起物が原因となる衝撃を緩和・分散させるために、緩衝材やキーボックスプレート（プラスチック製）が取り付けられています。
3. 作動後、最大限に膨らんだエアバッグ（気室）は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。アクシデントの衝撃度合いなどにより変わりますが、作動直後に身体への圧迫がありますが、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていくます。息苦しい場合は、ガス抜きバルブのキャップをはずしガスを抜く（右図）か、脱衣して圧迫を解消して下さい。
※モデルによってガス排出バルブがない場合があります



◀ フロントファスナーやバックルを外し、左右気室先端を後にずらすと圧迫感が解消できます。

注意 ⚠ 4. ヒットエアースステム及びウェアの生地、気室、マジックテープ、ファスナー、バックル等が傷ついたり、破損した場合は、正常な作動をしません。取扱店にご相談下さい。再生できない場合があります。

注意 ⚠ 5. 事故などで作動し、傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は当方にてメンテナンスチェック（※3）を行ってから再使用する事をお勧めします。

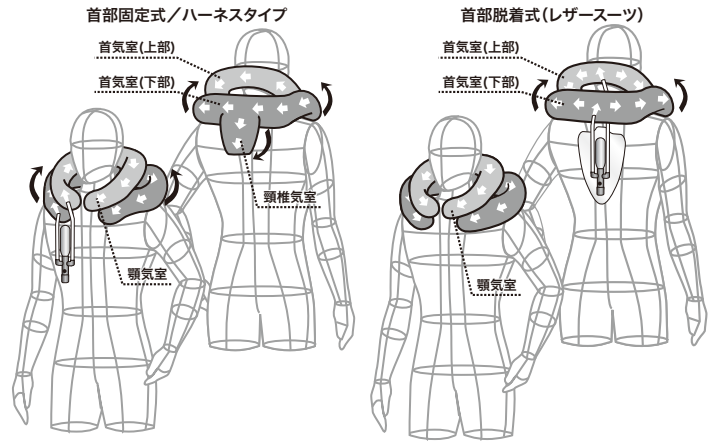
（※3）メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらずとも、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確認する作業です。

4-2 気室

1. 気室の素材は、筒状のポリウレタンフィルムを使用し、より強度をもたせ、作動時の衝撃を出来るだけ多く吸収するようにしてあります。
 2. 通常、作動した瞬間の気室の圧力は、最大膨張時約30kpa（約0.30kg/cm²）程ですが、徐々にガスが放出され、圧力はさがっていく様になっています。
※使用条件や気温等によって圧力は変わる場合があります。
 3. 炭酸ガス（CO₂）はキーボックスからエアチューブを通り各気室（ポリウレタンフィルム）に送り込まれます。
 4. 破損等に対する強度は、ウェアの素材、ポリウレタンフィルム及び、縫製強度によっても違います。また、接触する物の形状、強度、摩擦等によってもかわります。
- ヒットエアは、衝撃によるダメージを少しでも和らげるために作られたものであり、接触物の形状及び、衝撃の度合いにより、破損等も考えられます。

4-3 ヒットエアース構造

首部ヒットエアースシステム（気室）はマジックテープで接合しています。気室内部のポリウレタンフィルムが膨らみ衝撃を緩和します。



4-4 キーボックス《Y型》

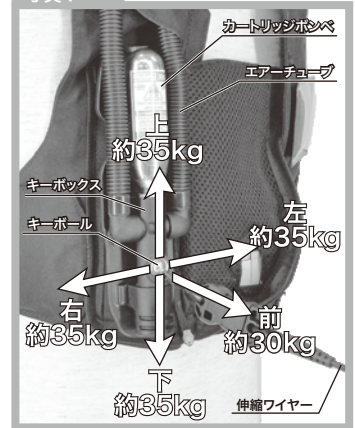
この装置（写真1）は、通常約30kg～35kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込まれている圧縮バネと針が連動し、カートリッジボンベの底部（封板）に穴を開けて炭酸ガスを送り、作動させます。着用時、前方どの方向から引っ張られてもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

警告 ⚠ 1. キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい。

注意 ⚠ 2. 通常時（使用時）はカートリッジボンベを緩めたり外したりしないで下さい。外してしまった場合は、キーボックスの取付けネジ部分に根元までいっぱいねじ込んで下さい。

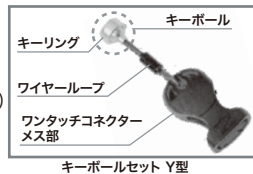
※YKKと共同開発した小型キーボックス

写真1



4-5 キーボール《Y型》

キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定する役割をし、キーボールが抜けると圧縮バネと針が連動してカートリッジボンベの封板に穴をあけ、エアバッグ（気室）が膨らみます。
キーボールとキーリングは、一体型のパーツです。



4-6 CO₂カートリッジボンベの取扱い

- カートリッジボンベ内には炭酸ガス（CO₂）が充填されています。
- キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベの底部（封板）に穴を開けて、カートリッジボンベ内のガスを各気室へ送り込みます。
- 一度作動（使用）したカートリッジボンベは使用できません。（使用済カートリッジボンベは底部（封板）に穴が開いています）未使用の新しいカートリッジボンベとお取り替え下さい。
- カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないと針がカートリッジボンベ底部（封板）に届かず作動しない場合や、作動してエアバッグが膨らんでも数秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。カートリッジボンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守って下さい。破裂の危険性があります。

- 警告 ⚠ 1. カートリッジボンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。（高温となる車中などでの保管はおやめください。）
- 警告 ⚠ 2. カートリッジボンベに強い衝撃を与えないで下さい。
- 警告 ⚠ 3. カートリッジボンベを加熱しないで下さい。
- 警告 ⚠ 4. カートリッジボンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。
- 警告 ⚠ 5. 使用済のカートリッジボンベはガスがはいっていない事を確認してから廃棄して下さい。
- 警告 ⚠ 6. カートリッジボンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。
- 警告 ⚠ 7. モデルによってカートリッジボンベのサイズ（容量）が異なります、交換の際は必ずモデル指定のサイズ（容量）をご使用下さい。
不明な場合は、当社ホームページの「交換用ボンベサイズ表」を参照下さい。
www.hit-air.com

注意 ⚠ 8. ヒットエア以外の用途で使用しないで下さい。

注意 ⚠ 9. ヒットエア製カートリッジボンベ以外は使用できません。

注意 ⚠ 10. 子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。

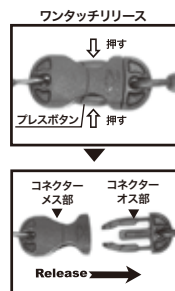
注意 ⚠ 11. 通常時（使用時）は、セットしたカートリッジボンベを回して緩めたり外したりしないで下さい。

注意 ⚠ 12. 再生作業等でカートリッジボンベを外した場合、カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際、根元までいっぱいねじ込んで下さい

5 使用方法

5-1 ワンタッチリリースについて

- ヒットエアには、バイクへの乗降時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。ワンタッチリリースとは、バイクの所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーと、首部ヒットエアースシステムのキーボックスから出ているキーボールとをつなぐパーツです。



- 注意 ⚠
1. 乗降時・走行時にワンタッチリリース（コネクター）などがバイクのタンク各部位に接触し、傷つく場合があります。
※上記の状況が予想される場合、タンク保護シール等による保護をお勧めします。
 2. 接合する際は、メス部を持ちながらオス部を挿入して下さい。その際に「カチッ」と挿入音が出るのを確認してください。挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。
 3. オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合や違和感がある場合は、新しいものにお取り替え下さい。無理に行くと、外せなくなる事や自然に外れる場合があります。
 4. 降車時に、接続を解除したオス部・伸縮ワイヤーが、エンジン部分やマフラーなどの高温部分に触れると変形や破損の恐れがあります。

5-2 首部ヒットエアースシステムと伸縮ワイヤーの接続

- 走行するために接続するには、バイクに股がってから、ワンタッチリリース（コネクター）のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音を確認して下さい。（写真1）
- バイクから降りる際には、ワンタッチリリース（コネクター）のプレスボタン（両側）を押して、外してからバイクをお降り下さい。（写真2）

写真1



写真2



5-3 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続

伸縮ワイヤーのバイクへの接続方法、接続箇所は各種バイクにより異なります。乗車時は様々な状況によりライダーの動きが変わります、その場面を十分想定し、誤操作による誤作動が起こらない様に、伸縮ワイヤーの長さ、バイクへの取付け位置を決めて下さい。(伸縮ワイヤー取付方法・位置 P17～18参照)
不適切な接続の場合、誤作動や作動しない恐れがありますのでご注意ください。

- 警告** 1. 降車時に、接続を解除した伸縮ワイヤーがエンジン等の高熱部分に触れた場合、変形や破損の恐れがあります。
2. 伸縮ワイヤーは運転の妨げになる場所への取付けはお避け下さい。
3. 伸縮ワイヤーを首部ヒットエアに接続しないで走行した場合に、車輪に絡み付く場所への取付けはお避け下さい。事故につながる恐れがあります。

- 注意** 4. 乗降時・走行時に伸縮ワイヤーなどがバイクの各部位に接触した場合や、ヒットエア作動時にキーボールが抜けた際に伸縮ワイヤーの先に付いたキーボールなどがバイクの各部位に接触し、傷つく場合があります。
5. 伸縮ワイヤーの取付けが不完全の場合、伸縮ワイヤーが抜けて作動しません。
6. 外装にこすれ傷、こげあと、めくれ、ヒビ等の異常を確認した場合は新しいものにお取り替え下さい。そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け外れる原因となります。
7. 伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行ってください。

また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用ください。

伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤーのワイヤー部には、強度に優れたケーブル糸を使用し、ウレタン樹脂で表面をコーティングしています。



伸縮ワイヤーW (背面キーボックス用)



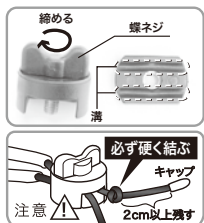
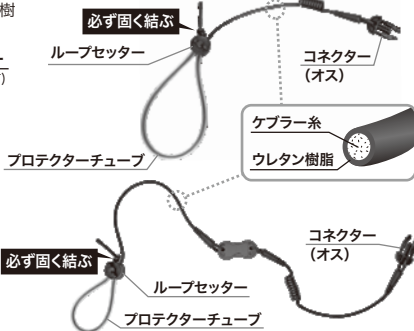
ループセッター

ループセッターは、伸縮ワイヤーの長さを調節し固定するパーツです。乗車の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。長さ調節する場合は、ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、蝶ネジを強く締めて下さい。ループセッターより出たワイヤーは根元に結び目を作り(固く結ぶ)、先端部を2cm以上残して、余った部分を切り、キャップをはめて下さい。

※結び目が無いとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。

プロテクターチューブ

伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレームやハンドルなど、巻き付け箇所の形状に応じて、適切な長さに切って使用下さい。



5-4 伸縮ワイヤー取付方法・位置

伸縮ワイヤーの取付方法

1 プロテクターチューブ



フレームにプロテクターチューブを巻き付けて長さを調節し、余った部分はカットします。

2 伸縮ワイヤー

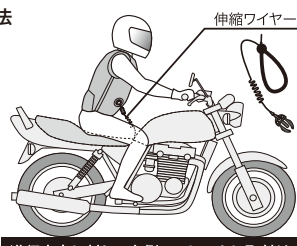


プロテクターチューブに伸縮ワイヤーを通します。

3 ループセッター

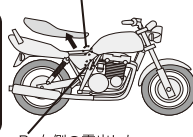


プロテクターチューブから出たワイヤーをループセッターで仮止めし、伸縮ワイヤーの長さを調節します。



進行方向に対して右側のフレームに取付ける

取付位置 A: シートを外した内部フレーム部分



B: 右側の露出した固定可能なフレーム部分

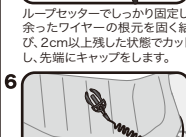
結び目はワイヤーを抜くためのストッパーの役割をします



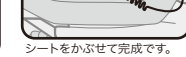
バイクに股がりスタンディング姿勢で、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で長さを決めます。



ワイヤーを強く結び、2cm以上残すキャップ



ループセッターでしっかりと固定し、余ったワイヤーの根元を固く結び、2cm以上残した状態でカットし、先端にキャップをします。



シートをかぶせて完成です。

注意 伸縮ワイヤーは、運転動作の妨げになるような場所、バイクに損傷を及ぼす場所、引っ張られた際に外れたり抜けたりする場所、エンジンやマフラー等の高温付近への取付けはお避け下さい。

伸縮ワイヤーの長さ調節方法

バイクにまたがりスタンディングし伸縮ワイヤーの伸縮部分が伸びきった状態にする



スタンディング姿勢で伸縮部分が伸びきった状態



スタンディング姿勢で伸縮部分が伸びきった状態、たまたま、余裕がある状態はダメ



伸縮部分が伸びきっていてもスタンディング出来ない、中腰状態はダメ



ワイヤーが長すぎると作動が遅れる原因となります



ワイヤーが短すぎると誤作動の原因となります



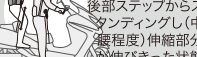
スタンディングし(中腰程度)伸縮部分が伸びきった状態



スクーター例1 ハンドル首部の場合 車上でスタンディングし伸縮部分が伸びきった状態



スクーター例2 シート部の場合 地面からスタンディングし伸縮部分が伸びきった状態



スクーター例3 後部シートの場合 後部ステップからスタンディングし(中腰程度)伸縮部分が伸びきった状態

バイクの大きさや車種、ご自身の身長によって伸縮ワイヤーの取付位置、長さが異なります。上記を参考に各自にあった方法で調節して下さい。

6 作動時及び、作動後の注意

着用した首部ヒットエアシステムが作動し膨らんだ状態になった場合、以下の点に注意して下さい。

1. 首部ヒットエアは、特に首を保護するため、膨らんだ際首周りに圧力がかけられます。そのため、着用しているヘルメットのおごひもが取れにくくなります場合がありますが、その際はフロントファスナーやバックル等を外して、左右気室を後方にずらし(右図)圧力を解消して下さい。
2. 現場の状況に合わせて慌てずに、脱衣して下さい。
3. 事故等により現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱衣して下さい。
4. 瞬時に膨らんだ首部ヒットエアは、身体に多少の圧力がかけられますが、徐々に炭酸ガスが抜けていくようになっています。事故により膨らんだ状態で車両に挟まれたり、圧迫をうける状態になっても落ち着いて行動して下さい。
5. 膨らんだ気室が、大きな衝撃や鋭利な障害物により破損した場合は、気室前部の炭酸ガスが直ぐに抜けてしまいます。



- 注意** 6. 走行中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は、慌てず、すみやかに安全な場所へバイクを移動し、首部ヒットエアを脱衣して下さい。そのまま走行しますと、膨らんだ気室等によって大きな風圧を受け、不安定な状態となり大変危険です。

- 注意** 7. 作動の際、外傷の出来たヒットエアは、取扱店や当方でメンテナンスチェックの上、カートリッジボンベを新しいものに取り替えて再びご利用下さい。著しい外傷、部品破損の場合は、再生出来ない場合があります。

- 注意** 8. ツーリングなどで一度作動した首部ヒットエアを、やむをえずお客様が再生される場合は、以下の点に注意して下さい。

- ヒットエアの外傷(キズ・穴)等がない事を確認する。
- 作動した時に、エアバッグが膨らんだ事を確認する。
- 予備のカートリッジボンベは、ジャケット指定のサイズ(容量)で未使用のカートリッジボンベである事を確認する。

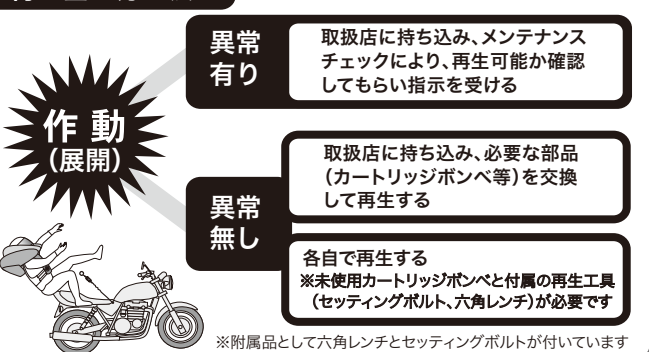
上記を確認した上で、問題がなければ、お客様の責任に於いて再生して下さい。異常がある場合は、正常に作動しない場合があります。詳しい再生方法は「作動後の再生」P18～23を参照して下さい。

7 作動後の再生

7-1 再生するには

一度作動したヒットエアシステムは、取扱店で〈メンテナンスサービス〉をして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事はできませんが、正しくセッティングしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取り扱いください。

再生方法



各自で再生するおおよかな手順 詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

1. 未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します (P19) 1.参照
2. キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします (P19) 2～4.参照
3. カートリッジボンベを外します (P20) 5.参照
4. エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します (P20) 6.参照
5. 未使用カートリッジボンベを取付けます (P23) 17.参照
6. キーボックスのカバーを締めて完了です (P23) 18.参照

7-2 再生作業

1. 再生に必要な工具を準備します(写真1)

未使用のカートリッジボンベと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

注意  カートリッジボンベはモデル指定のサイズをご使用下さい。

キーボックスの再生作業

2. キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(写真2)

キーボックスの下面にある穴にセッティングボルトを差し込み、手で締めます。きつくなったら六角レンチをご使用下さい。(ボルトを締めるとキーボールの穴が下へ移動します)

3. 六角レンチでキーボールの穴が中心にくよう調節します(写真3)

徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。キーボールの穴が中心に来たら、キーボールをセットします。

4. キーボールをセットします(写真4)

キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングと穴を平行にセットします。うまく入らない場合は、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んだりします。

写真の〈良い挿入例〉の様に、キーリングがキーボックスのプラスチック部円形穴より、リング全体が均等に沈んだ状態まで挿入してある事を確認して下さい。

警告  〈悪い挿入例〉の様に、キーリングがうまく挿入されていない状態では使用しないで下さい。本来より、小さい引張りで作動したり、自然にキーボールが抜け不意に作動する恐れがあり危険です。

写真1

再生に必要な工具を準備します

セッティングボルト(付属品) ---
六角レンチ/5mm(付属品) -----
キーボールセット(Y型) -----
未使用カートリッジボンベ(別売) -----

写真2



写真3

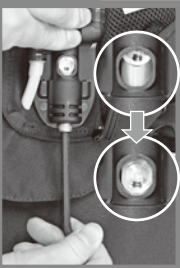
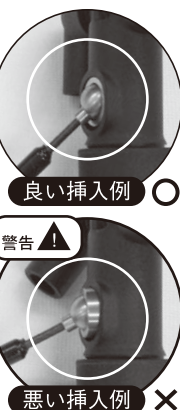


写真4



次ページへ

19

5. 使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外します。(写真5)

カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真5の様に回しながらキーボックスから外します。



6. セッティングボルトを外します(写真6)

キーボールがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。

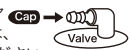
警告  セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグは作動しません。

7. エアバッグ(気室)からエアを抜きます(図7)

気室からガスを抜く作業を行います。突起物などの無い平坦な場所に首部ヒットエアを広げて各気室部分を押し下げるようにしてガスを抜き出します。丸めたり、畳んだりする行為はおやめ下さい。内部部品に損傷を与える場合があります。根気よく、ほぼ完全にガスが抜けるまで行って下さい。

注意  この作業が完全に行われない場合は各気室部分の収納がうまく出来なくなります。また、エアバッグの誤作動の恐れがあります。

注意  作動時にバルブキャップを外した場合は、キャップを締めてください。



次ページへ

写真5

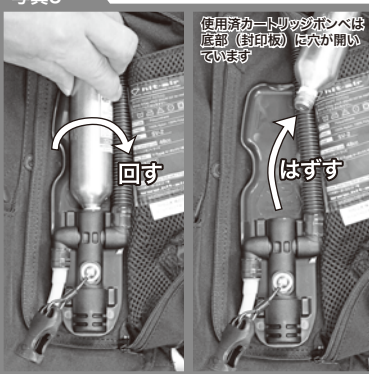
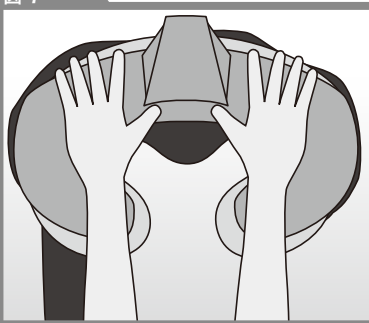


写真6



警告  必ずセッティングボルトを外して下さい

図7



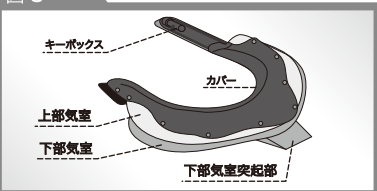
20

7-2

気室の収納作業

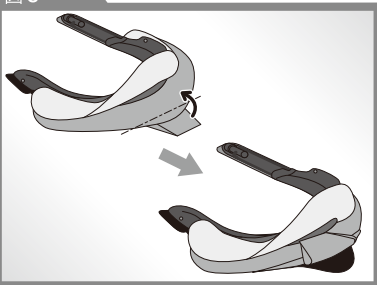
8. 上下気室からガスが抜けた事を確認します。(図8) 気室収納は背面部から収納していきます。

図8



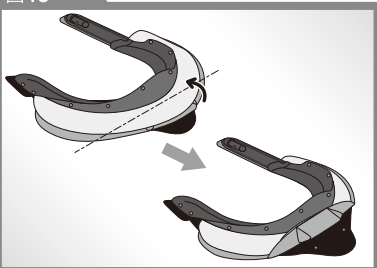
9. 下部気室の突起部を上内側にたたみます。(図9)

図9



10. 上部気室と合わせて内側にたたみます。(図10)

図10



注意  上下気室を重ねて丸め込んだ状態で収納しないで下さい。重ねて丸め込んだ状態で収納すると、正常に作動しない恐れがあります。

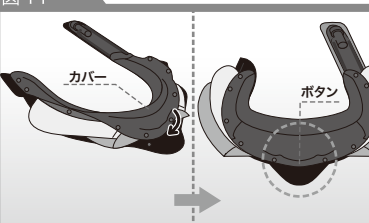


次ページへ

21

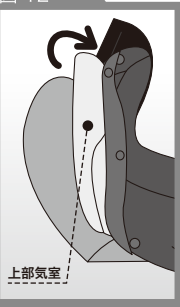
11. カバー背面中央部のボタンを留め、上下気室中央部分を収納します。(図11)

図11



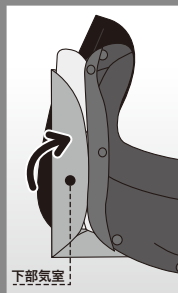
12. ボンベの反対側の上部気室を内側にたたみます。(図12)

図12



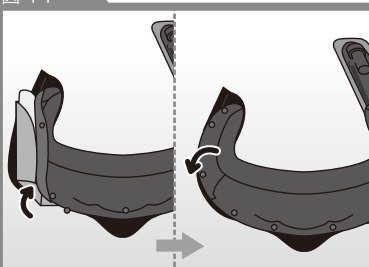
13. 下部気室と合わせて内側にたたみます。(図13)

図13



14. カバーからはみ出した気室を内側に折込みながらボタンを留めて収納します。(図14)

図14



注意  上下気室を重ねて丸め込んだ状態で収納しないで下さい。重ねて丸め込んだ状態で収納すると、正常に作動しない恐れがあります。



次ページへ

22

